



愛知長久手ロータリークラブ

2018-2019

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 奥野悦弥 幹事 伊藤広治 会報 青山和成

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



インスピレーションになるう



本日 第 723 回 2018 年 9 月 4 日(火曜日)715 号

<本日のプログラム> Today's Program

歓迎 ガバナー補佐

卓話者: 東尾張分区

ガバナー補佐 加藤久仁明

演 題: 「ガバナー補佐公式訪問

に因んで」

◇ 点 鐘

◇ ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」

前回 第 722 回例会 2018 年 8 月 28 日(火曜日)記録

<出席報告>

員 総 数 18 名

出 席 者 8 名 出 席 率 44.44 % 前々回補正出席率 83.89 %



チキンカレーセット

<幹事挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ 幹事 伊藤 広治

皆さんこんにちは、亀井特別代表も本日は我がクラブへお越しくござりありがとうございます。

本日はあいにく会長もエレクトも欠席しておりまして誠に申し訳ございません。

幹事の挨拶にて例会を進めさせていただきます。

さて今月は会員増強月間ということですが、週末に長久手市の将来有望な若者たちに会ってまいりました。まずは商工会青年部です。彼らと共にアピタ長久手店にて子ども商店街という 10 年以上続く事業に参加してまいりました。子供たちに職業体験をしてワークショップを重ね、アピタのテラスにて一日だけの商店街をつくり商いをします。私は木工屋でしたが他に和菓子屋、ケーキ屋さん、ゲーム、マッサージなど中には将来 YouTuber になりたいというグループまでありました。その子ども商店街をサポートしている青年部員たちはロータリーの卵になりうるか? 難しい問題です。彼らの長久手を良くしたい、長久手の子供たちに夢を将来を見せてやりたいという気持ちは非常に大きなものです。奉仕の精神から言えば、ロータリアンに負けていないと思います。

しかしながらロータリーにはお金と時間が必要不可欠な条件になります。今長久手の中心で機動力となっている若者は個人事業主が多く、少ない時間を必死にこうした事業活動に充てています。

厳しい予算も自分の労力を削って努力しています。大きな予算とゆっくりした時間が得にくいと感じていると思います。すべて同じ条件を満たさなくてはいけないのか、それぞれの役割とポジションを分けて協力するのかわロータリーの在り方も今後変化も必要かと思われまます。

<委員会報告>

■ニコボックス委員会■

- ・ 久しぶりに会員お元気な姿を拝見することが出来幸せです。 特別代表 瀬戸 RC 亀井 勝
- ・ 亀井特別代表ようこそ長久手へ。よろしくお願ひします。 伊藤広治
- ・ 瀬戸 RC 亀井様ようこそおいで下さいました。 日野典子
- ・ 亀井様ようこそ お久しぶりです。伊藤さん卓話よろしく。 大島昭夫
- ・ 本日もよろしくお願ひします。 田中信子
- ・ 本日も宜しくお願ひ致します。 伊藤 真
- ・ 亀井先生ようこそいらっしやいました。お会い出来てうれしいです。 大月涼子
- ・ 8月残り少なくなりましたが、暑い日が続いております。万物の生長のため、適量の降雨を期待 近藤鋭雄
- してあります。本日もよろしくお願ひいたします。
- ・ 先日は花火大会ありがとうございました。また楽しみにしています。 大橋良宣

<幹事報告>

- ① 次回例会 9/4(火)は、ガバナー補佐訪問になります。場所はトヨタ博物館新館大ホール 12:30-13:30 になります。ガバナー補佐訪問ご案内を送らせていただいておりますが、食事は 12:10 より一斉食事 となりますので、遅れないようお願いいたします。
当日は、クラブ計画書持参をお忘れのないようお願いいたします。
尚、親睦委員の方は会場の準備の為、11:30 までに小ホール前をお願いいたします。
- ② 第 3 回理事役員会 9/4(火)になっておりましたが、ガバナー補佐訪問後、クラブ協議会がある為、理事役員会は、9/11(火)ガバナー公式訪問終了後行います。場所は、瀬戸商工会議所1F 喫茶「マイアミ」で行います。理事役員の方はよろしくお願ひいたします。

<ハイライトよねやま>

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま 221号 ★ 2018年8月14日発行

：：今月のトピックス：：

- ・ 2019年4月採用米山奨学生の募集を開始
- ・ 寄付金速報 — 2018-19年度も好調にスタート —
- ・ 日台インターアクト交流、米山学友が懸け橋に
- ・ モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金
- ・ ウイグル出身の米山学友らが西日本豪雨被災地へ

《今月のピックアップ記事》

モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金

「平成 30 年 7 月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。このニュースに心を痛めたモンゴル米山学友会では、3 月に就任したばかりのオイドブ・バトゲレル会長（2005-07/前橋 RC）が中心となり、会員に義援金を呼び掛けました。

7 月 20 日、同学友会を代表して、創立会長のジャンチブ・ガルバドドラッハさんと第 3 代よねやま親善大使のエンフボルド・ボロトヤさんが当会事務局を訪問。今なお避難生活を送る被災者や復興のために尽力する方々を気遣い、「被災された皆さまのために少しでも役立てていただけたら」との気持ちを綴ったお見舞いの手紙と共に、モンゴル学友 36 人からの義援金 14 万 9,050 円を届けてくれました。義援金は全額、第 2710 地区（広島県・山口県）に送金しました。



9月11日(火)	9月18日(火)	9月25日(火)	10月2日(火)
ガバナー公式訪問	同週祝日振替休会	クラブフォーラム	祝 福 卓話・委員会報告
(瀬戸商工会議所)		(華 野)	(トヨタ博物館)